



## 平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年1月31日

上場取引所 東

上場会社名 日本化薬株式会社  
コード番号 4272 URL <http://www.nipponkayaku.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鈴木 政信

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 グループ経理本部経理部長 (氏名) 武内 直彦 (TEL) 03-6731-5842

四半期報告書提出予定日 平成29年2月10日

配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	117,885	△2.7	15,371	△7.1	15,707	△3.6	10,852	△35.3
28年3月期第3四半期	121,215	2.3	16,543	△2.0	16,296	△17.9	16,761	35.1

(注) 包括利益 29年3月期第3四半期 11,456百万円(△43.1%) 28年3月期第3四半期 20,152百万円(△4.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	62.61	62.59
28年3月期第3四半期	92.59	92.56

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第3四半期	271,384	203,831	70.7
28年3月期	272,679	200,492	69.3

(参考) 自己資本 29年3月期第3四半期 191,823百万円 28年3月期 188,919百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	ー	12.50	ー	17.50	30.00
29年3月期	ー	12.50	ー	ー	ー
29年3月期(予想)	ー	ー	ー	12.50	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	158,500	△2.7	18,000	△17.1	17,000	△19.1	12,500	△27.7	72.12

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 有

② ①以外の会計方針の変更： 無

③ 会計上の見積りの変更： 無

④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

29年3月期3Q	182,503,570株	28年3月期	182,503,570株
29年3月期3Q	9,340,751株	28年3月期	6,857,074株
29年3月期3Q	173,332,758株	28年3月期3Q	181,024,972株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビューは終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の実績に与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、添付資料3ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	4
(会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示) .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（平成28年4月1日から平成28年12月31日まで）の世界経済は、米国では堅調な個人消費の下支えにより緩やかな回復が続いており、欧州では地政学的リスクの高まりがみられるものの緩やかな回復が続いております。中国では成長のペースが緩やかに減速しました。日本経済は、雇用・所得環境の改善とともに個人消費に底堅い動きがみられるなど緩やかな回復基調にあるものの、世界経済の減速懸念や為替相場の大きな変動の影響により、先行き不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社グループは本年度よりスタートさせました中期事業計画“*Take a New Step 2016*”の重点テーマと中長期重点課題に取り組み、研究開発の強化、重点事業への経営資源の最適配分、海外事業の拡大に加え、収益体質の強化を目指し、一層のコストダウンを推進しました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、セイフティシステムズ事業が前年同四半期を上回りましたが、機能化学品事業、医薬事業が前年同四半期を下回ったことにより、1,178億8千5百万円と前年同四半期に比べ33億2千9百万円（2.7%）減少しました。

営業利益は、売上高の減少により、153億7千1百万円と前年同四半期に比べ11億7千2百万円（7.1%）減少しました。

経常利益は、157億7百万円と前年同四半期に比べ5億8千9百万円（3.6%）減少しました。

親会社株主に帰属する四半期純利益は、108億5千2百万円と前年同四半期に比べ59億9百万円（35.3%）減少しました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

**【機能化学品事業】**

売上高は475億1千万円と前年同四半期に比べ36億1千6百万円（7.1%）減少しました。

機能性材料事業は、半導体封止材用エポキシ樹脂及び紫外線硬化型樹脂が堅調で前年同四半期を上回りました。

色素材料事業は、感熱顔色剤が堅調でしたが、インクジェットプリンタ用色素、繊維用染料及び紙用染料が低調で色素材料事業全体として前年同四半期を下回りました。

触媒事業は、アクリル酸製造用触媒が低調でしたが、メタクリル酸製造用触媒が堅調で触媒事業全体として前年同四半期を上回りました。

ポラテクノグループは、染料系偏光板や無機偏光板ProFluxが低調で前年同四半期を下回りました。

セグメント利益は46億1千9百万円と前年同四半期に比べ3千万円（0.7%）減少しました。

**【医薬事業】**

売上高は362億9千6百万円と前年同四半期に比べ19億円（5.0%）減少しました。

国内向け製剤は、バイオ後続品の「インフリキシマブBS点滴静注用」（抗体薬）、高度管理医療機器の「エンボスフィア」（血管内塞栓材）が伸長しました。一方、「パクリタキセル注NK」、「カルボプラチン点滴静注液NK」などの注射剤抗がん薬や「ピカルタミド錠NK」、「アナストロゾール錠NK」などの経口抗がん薬は薬価改定などの影響を受け、前年同四半期を下回りました。国内向け製剤全体では、「オキサリプラチン点滴静注液」（抗がん薬）及び「ドセタキセル点滴静注」（抗がん薬）などの新製品が寄与しましたが、前年同四半期を下回りました。

国内向け原薬は、医薬品原料、醗酵品原料が堅調で前年同四半期を上回りました。

輸出は、前年同四半期を上回りました。

診断薬は、糖尿病診断薬が低調で前年同四半期を下回りました。

セグメント利益は45億9千万円と前年同四半期に比べ19億5千8百万円（29.9%）減少しました。

**【セイフティシステムズ事業】**

売上高は282億6千5百万円と前年同四半期に比べ19億8千7百万円（7.6%）増加しました。

国内事業は堅調に推移し、エアバッグ用インフレーターは前年同四半期を上回りましたが、シートベルトプリテンションナー用マイクロガスジェネレーターはA S E A N市場向けの生産を平成27年度から稼働を開始した海外グループ会社に移管したため、前年同四半期を下回りました。国内事業全体では前年同四半期を上回りました。

海外事業は北米・欧州・中国市場が堅調だったことに加え、新興国での自動車安全部品への需要拡大などによりエアバッグ用インフレーター、シートベルトプリテンショナー用マイクロガスジェネレーター及びスクイブはそれぞれ前年同四半期を上回りました。

セグメント利益は52億6千3百万円と前年同四半期に比べ2億4千4百万円(4.9%)増加しました。

**【その他】**

売上高は58億1千3百万円と前年同四半期に比べ2億円(3.6%)増加しました。

アグロ事業は、国内が前年同四半期を上回り、輸出は前年同四半期を下回りました。アグロ事業全体では前年同四半期を上回りました。

不動産事業他は、前年同四半期を上回りました。

セグメント利益は10億5百万円と前年同四半期に比べ4億8百万円(68.4%)増加しました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

総資産は2,713億8千4百万円となり、前連結会計年度末に比べ12億9千4百万円減少しました。主な減少は有価証券69億6千6百万円であり、主な増加は現金及び預金28億3千4百万円、投資有価証券12億2千9百万円、たな卸資産9億1千7百万円、その他投資8億5千3百万円(投資その他の資産に含む)であります。

負債は675億5千2百万円となり、前連結会計年度末に比べ46億3千3百万円減少しました。主な減少は長期借入金38億5千万円、未払法人税等20億4千万円、短期借入金6億3千9百万円であり、主な増加は支払手形及び買掛金30億2千8百万円であります。

純資産は2,038億3千1百万円となり、前連結会計年度末に比べ33億3千8百万円増加しました。主な増加は親会社株主に帰属する四半期純利益108億5千2百万円、その他有価証券評価差額金7億3百万円、非支配株主持分4億3千5百万円、退職給付に係る調整累計額3億1千5百万円であり、主な減少は為替換算調整勘定10億6千1百万円、配当金の支払52億3千8百万円、自己株式の取得26億8千9百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の当社グループを取り巻く経営環境は、世界経済は米国では引き続き堅調に推移する一方、欧州では地政学的リスクの高まりにより景気の下振れが懸念されます。日本経済は雇用・所得環境の改善が続く中で、各種政策効果もあり緩やかに回復することが期待されるものの、世界経済の下振れの影響に留意する必要があります。

このような状況において、当社グループは事業環境の変化に対応できる強固な財務体質を構築するとともに、グローバルな成長市場で既存ビジネスの拡大と新事業・新製品の展開を加速させ、収益の拡大を図ってまいります。

なお、通期の業績予想につきましては、平成28年11月7日に公表いたしました予想に変更はありません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示)

(会計方針の変更)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、この変更による当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響額は軽微であります。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	37,128	39,962
受取手形及び売掛金	50,529	51,142
電子記録債権	841	1,389
有価証券	10,639	3,672
商品及び製品	24,404	24,955
仕掛品	1,893	1,804
原材料及び貯蔵品	17,797	18,253
その他	7,961	6,602
貸倒引当金	△25	△25
流動資産合計	151,170	147,757
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	39,173	39,330
機械装置及び運搬具(純額)	22,169	23,256
その他(純額)	19,696	18,197
有形固定資産合計	81,040	80,784
無形固定資産		
のれん	113	594
その他	2,051	1,836
無形固定資産合計	2,164	2,431
投資その他の資産		
投資有価証券	35,093	36,323
退職給付に係る資産	1,254	1,323
その他	1,852	2,706
貸倒引当金	△33	△39
投資その他の資産合計	38,166	40,313
固定資産合計	121,372	123,529
繰延資産	136	98
資産合計	272,679	271,384

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,285	15,314
短期借入金	6,981	6,341
未払金	10,205	9,799
未払法人税等	2,687	647
その他	7,580	7,304
流動負債合計	39,740	39,407
固定負債		
長期借入金	12,460	8,609
環境対策引当金	3,599	3,599
退職給付に係る負債	518	430
その他	15,869	15,506
固定負債合計	32,446	28,145
負債合計	72,186	67,552
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,932	14,932
資本剰余金	17,534	17,555
利益剰余金	152,219	157,833
自己株式	△7,773	△10,462
株主資本合計	176,913	179,860
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	12,647	13,350
為替換算調整勘定	1,644	583
退職給付に係る調整累計額	△2,286	△1,971
その他の包括利益累計額合計	12,005	11,962
非支配株主持分	11,573	12,008
純資産合計	200,492	203,831
負債純資産合計	272,679	271,384

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	121,215	117,885
売上原価	71,329	70,623
売上総利益	49,886	47,262
販売費及び一般管理費	33,342	31,890
営業利益	16,543	15,371
営業外収益		
受取利息	37	65
受取配当金	484	589
有価証券売却益	—	5
負ののれん償却額	0	—
持分法による投資利益	334	361
その他	801	490
営業外収益合計	1,658	1,513
営業外費用		
支払利息	127	124
為替差損	1,455	683
その他	323	369
営業外費用合計	1,905	1,176
経常利益	16,296	15,707
特別利益		
固定資産売却益	9,146	590
関係会社株式売却益	51	—
特別利益合計	9,198	590
特別損失		
固定資産処分損	885	566
減損損失	—	31
特別損失合計	885	597
税金等調整前四半期純利益	24,609	15,700
法人税、住民税及び事業税	5,510	3,578
法人税等調整額	1,437	674
法人税等合計	6,948	4,252
四半期純利益	17,661	11,448
非支配株主に帰属する四半期純利益	899	595
親会社株主に帰属する四半期純利益	16,761	10,852

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
四半期純利益	17,661	11,448
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,529	704
為替換算調整勘定	△966	△1,018
退職給付に係る調整額	△73	322
持分法適用会社に対する持分相当額	1	0
その他の包括利益合計	2,490	8
四半期包括利益	20,152	11,456
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	19,331	10,809
非支配株主に係る四半期包括利益	820	647

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## I 前第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注)3
	機能化学品 事業	医薬事業	セイフティ システムズ 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	51,127	38,196	26,278	115,602	5,613	121,215	—	121,215
セグメント間の内部売上 高又は振替高	143	0	—	143	104	248	△248	—
計	51,270	38,196	26,278	115,745	5,718	121,463	△248	121,215
セグメント利益	4,650	6,549	5,019	16,218	597	16,815	△272	16,543

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、アグロ事業、不動産事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△272百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△290百万円、セグメント間取引消去18百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注)3
	機能化学品 事業	医薬事業	セイフティ システムズ 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	47,510	36,296	28,265	112,072	5,813	117,885	—	117,885
セグメント間の内部売上 高又は振替高	143	0	0	143	84	228	△228	—
計	47,654	36,296	28,265	112,216	5,898	118,114	△228	117,885
セグメント利益	4,619	4,590	5,263	14,474	1,005	15,480	△109	15,371

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、アグロ事業、不動産事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△109百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△159百万円、セグメント間取引消去50百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。